国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク
～次世代の医療のために～

# 研究成果報告書

皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（血液・髄液等）と臨床情報を利用した研究で
以下のような成果が見られましたのでご報告させていただきます。
ご協力ありがとうございました。

【対象となる方】

「筋疾患診断支援および保存と研究利用（筋レポジトリー)」(旧課題名「筋疾患診断支援と筋レポジトリーの構築」)（主任研究者：西野一三）の参加に同意し、国立精神・神経医療研究センター筋レポジトリーにおいて保存されている試料のうち、皮膚筋炎、抗合成酵素症候群、封入体筋炎特定の患者様、ならびに筋病理で診断的所見が得られなかった患者様の残余骨格筋検体を対象とします。

【研究課題名】

筋疾患患者由来試料を用いた新規創薬標的因子の探索-2

【研究責任者】

嶽本香菜(田辺ファーマ株式会社)

【本研究の成果】

筋組織で創薬標的発現細胞の局在を調べたところ，筋炎患者に特徴的な組織変化を示す領域で細胞が多く存在し，その周辺で筋障害が生じていることがわかった．これらのことから，この創薬標的発現細胞は筋障害に関連し，筋炎の治療標的になる可能性が示された．

【本研究に提供している試料・情報】

凍結切片

病理所見、病理診断名、性別、年齢、診断名、既往歴、服薬情報

提供する試料・情報の取得の方法：「筋疾患診断支援および保存と研究利用（筋レポジトリー)」(旧課題名「筋疾患診断支援と筋レポジトリーの構築」)（主任研究者：西野一三）にて、広義の診療として同意を得て保管している臨床情報ならびに凍結骨格筋検体を対象とする。

【研究期間】

提供後～2026年11月30日

【試料・情報等扱う機関】

KOTAIバイオテクノロジーズ株式会社

（問い合わせ窓口）
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク
所属　メディカル・ゲノムセンター バイオバンク部
電話番号　042-346-3520　　E-mail：biobank※ncnp.go.jp（※を＠に変更してください）